

## 令和5年度介護職員サポートプログラム関係県予算の概要

### ○主な事業

#### ■介護分野における戦略的広報推進事業（一部新規） 5,720千円【財源：確保基金】

介護職に関する理解促進のため、県戦略的広報推進基本方針を踏まえた効果的な広報を実施する。

- 1 お仕事体験イベント「キッズタウンやまがた」における介護ブース出展及び広報事業  
イベント会場に介護エリアを設け、介護事業所や福祉用具・介護ロボットメーカー等の協力により複数ブースを出展し、職業体験を実施。新聞やテレビ等の複数のメディアを活用して、介護業界に対する理解促進につなげる事前周知、成果報告を行う等、広がりのある広報を展開
- 2 介護の仕事魅力発信事業（新規）（「やまがたKAiGO PRiDE」キャンペーン推進事業）  
介護職の魅力を発信する「KAiGO PRiDEアンバサダー」を養成し、中高生や介護職員向けの出前講座で講師として活動していただく。併せて、学生による介護職の情報発信、介護職の魅力を伝えるイベントの開催などにより、介護職の社会的評価の向上とイメージ改善を図る「やまがたKAiGO PRiDE」キャンペーンをさらに推進し、介護職員の確保・定着や士気向上につなげる。

#### ■外国人介護人材支援センター事業（新規）6,000千円【財源：確保基金】

県内で働く外国人介護職員を対象とした相談窓口の設置・運営、介護施設等への巡回相談の実施、交流会等の開催及び実態調査を行うセンターを設置し、県内定着を促進する。

【プロポーザルにより契約決定予定】

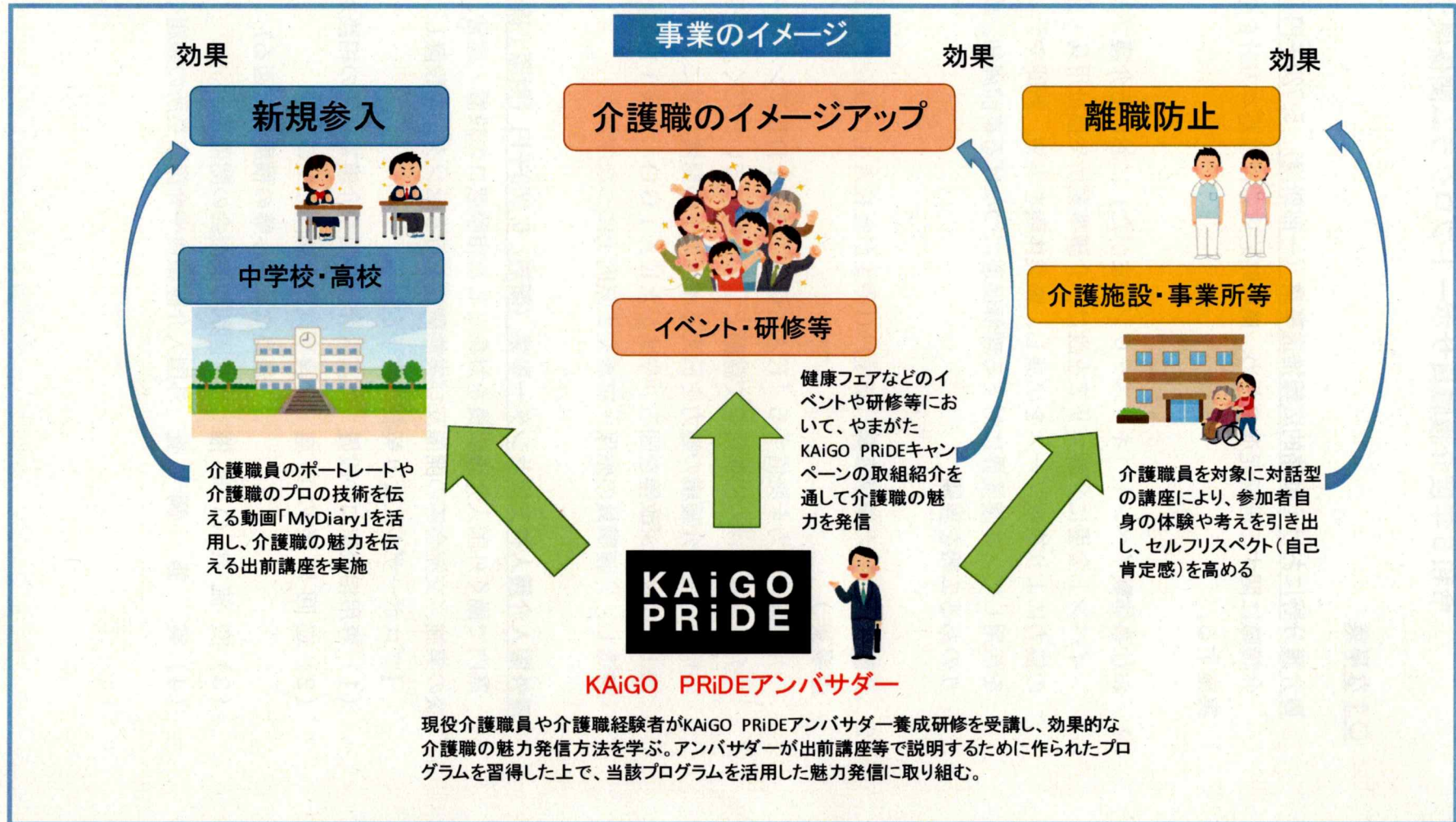
- (1) 専用相談窓口の設置 外国人介護職員や介護事業所の相談対応
- (2) 巡回相談の実施 介護事業所を訪問しての面談  
(優良な取組み等の横展開も図る)
- (3) 交流会の開催 出身国別の交流会の開催等
- (4) 実態調査 外国人介護職員や介護事業所の課題やニーズの把握

# KAiGO PRiDEアンバサダーについて

## 1 概要

KAiGO PRiDEアンバサダーとは、現役介護職員や介護職経験者で介護職の魅力を伝えることで、介護職に対するポジティブなイメージの浸透や社会的評価の向上を図ることを目的とし、中学校や高校における生徒や教員を対象とした出前講座の実施による新規参入の促進や、介護施設・事業所で働く介護職員に対し、対話型の講座によりセルフリスペクト（自己肯定感）を高め、離職防止につながる活動、イベント・研修等における介護職の魅力発信を行う。

## 2 活動内容





# 山形県外国人介護人材支援センターの設置について(R5予算額:6,000千円)

令和5年2月22日  
健康福祉部

## 【現状】

- 外国人介護人材の需要が高まっている一方で、降雪や交通の便、給与等、他県と比較して不利な状況にある本県を積極的に選択する外国人は少ない ※ 在留資格更新時に他県へ転出した外国人介護職員の割合：75%(R3)
- 「言語」や「生活習慣」で悩みを抱え、地域住民との交流や同国出身者とのつながりを求める外国人介護職員が多い(当県独自調査)

## 【課題】

- 介護事業所と連携して、外国人介護職員の悩みや困りごとを把握・解消し、県内定着を図る必要がある

## 【事業内容】

**山形県外国人介護人材支援センター(仮称)**を設置し、以下の事業を実施する

- ① **専用相談窓口の設置**：外国人介護職員や介護事業所の相談対応
- ② **定期巡回相談の実施**：介護事業所を訪問しての面談(優良な取り組み等の横展開も図る)
- ③ **交流会の開催**：地域住民との交流会、出身国別の交流会の開催
- ④ **実態調査**：外国人介護職員や介護事業所の課題やニーズの把握

